

歯科材料 05 歯科用接着充填材料
管理医療機器 歯科表面滑沢硬化材（34771000）
（歯科接着・充填材料用表面硬化保護材（70858000））

ジーシー G-コート

【禁忌・禁止】

- ・メタクリレート系ポリマー、メタクリレート系モノマーに対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・併用禁忌：相互作用の項参照。

【形状、構造及び原理等】

形状：液状（ボトル入り）

主成分：多管能メタクリレート、メチルメタクリレート、シリカ微粉末、光重合触媒

原理

充填修復物、補綴物等の表面又は接着界面に塗布し、光照射によりメタクリル酸エステルを重合・硬化させ、被膜を形成させるものである。

【使用目的又は効果】

歯科用レジン系材料、歯科用ガラスポリアルケノエートセメント及びレジン成分含有のガラスポリアルケノエート系セメントの表面滑沢性付与、表面の硬化、着色・変色・感水の防止、接着界面辺縁部分付近の封鎖及び耐磨耗性を向上させる。

【使用目的又は効果に関連する使用上の注意】

- 1) サホライドや知覚過敏抑制材を塗布した歯面への使用では、歯質と十分な接着力が得られない場合があるので、留意して使用すること。

【使用方法等】

- 1) 適用材料の充填、硬化
適用材料の使用 방법에従い、充填、硬化させます。
口腔内充填修復物・補綴物に適用する際は、一層表面を切削し、新鮮面を露出させます。
- 2) 研磨
通法に従い、ダイヤモンドバー（ジーシー スムースカットなど）を用いて形態修正・研磨します。
- 3) コーティング
塗布面を水洗・乾燥します。容器を軽く振った後、本品をディスポディッシュに滴下し、マイクロチップアプリーケーターで口腔内の充填修復物・補綴物の表面に薄く塗布します。歯科用可視光線照射器で光照射を行い、本品を硬化させます。
- 4) リコール時などに再度塗布を行う場合は、ジーシー PTC システム等を用いて表面の清掃を行った後に塗布します。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 歯科用可視光線照射器と光照射時間
ハロゲン^{※1} 20 秒
LED^{※2} 30 秒
キセノン^{※3} 6 秒（430Tip 使用）
※1 ハロゲン：
コービー等ハロゲンランプを採用した歯科用可視光線照射器。
※2 LED：
G-ライト等 LED を採用した歯科用可視光線照射器。
ただし、他社の LED を使用する場合は、有効波長域が 400～515nm のものを使用します。
G-ライトブリマは、通常モードで 30 秒間光照射を行います。
※3 キセノン：
フリップ等キセノンランプを採用した歯科用可視光線照射器。
フリップ使用時は、必ず 430Tip を使用します。他社プラズマ系歯科用可視光線照射器については、有効波長域が 400～450nm のものを使用します。

- 2) 本品塗布前の充填修復物・補綴物の研磨面仕上げには、ダイヤモンドバーを使用すること。（滑沢な面に塗布した場合、耐久性が劣る場合があります。）
- 3) 本品を使用する際、マイクロチップアプリーケーターが口腔内で脱落しないように、使用前に確実にチップホルダーに装着されていることを確認すること。またマイクロチップアプリーケーターは、患者間で交差使用しないこと。
- 4) 无影灯の光により操作余裕時間が短くなるので、充填・付形の際は、必要に応じて无影灯を減光する、または消すこと。
- 5) 表面硬化性は光照射器の照射能力に依存するので、ランプの劣化、ファイバーロッドの汚れに注意すること。
- 6) 光照射の条件によって表面にベタつきが残る場合には、表面のベタつきがなくなるまで照射時間を延長すること。
- 7) 塗布面が広い場合には、数回光照射を行い、塗布面全体を光照射すること。
- 8) 本品塗布時は、エアーブローを行わないこと。〔十分に硬化しない場合がある〕
- 9) エアーシリンジ等を使用して充填修復物・補綴物の表面及び歯面の乾燥を行う場合には、事前にオイルミスト等接着阻害物質が噴射されていないことを確認してから使用すること。
- 10) 本品は 21～25℃の室温で使用することを想定しているため、室温が高くなると操作余裕時間が短くなり、室温が低くなると長くなるので注意すること。
- 11) 揮発成分を含むことから、塗布直前に採取すること。（採取後 2 分以内に塗布すること。付属のディスポディッシュ以外の採取皿を使用する場合は、採取後 1 分以内に塗布すること。）

【使用上の注意】

- 1) 使用注意（次の患者には慎重に適用すること）
(1) 薬剤、食品、アクセサリ、化学物質等に過敏症の既往歴がある患者には、本品および類似品に対して過敏症歴がなくても問診を行い、慎重に使用すること。
- 2) 重要な基本的注意
(1) 本品に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は、本品を使用しないこと。また、使用により過敏症状を起こしたときは、使用を中止し、すぐに医師の診断を受けること。
(2) 本品が、口腔粘膜、皮膚などに付着しないよう充分注意すること。歯肉、口唇など粘膜面に付着すると炎症（白変、水疱など）を生じることがあるため、ラバーダムを使用するなど、口腔粘膜・口唇への接触を防止すること。
（ラバーダムなどで口腔粘膜・口唇への接触が防止できない部分については、ココアバターなどを塗布することをお勧めします。）口腔粘膜に付着した場合にはすぐに綿球などで拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。また皮膚に付着した場合には、すぐに石鹸で洗浄すること。歯肉などに付着した場合には、すぐに綿球で拭き取り、操作終了後に十分に水洗すること。炎症（白変、水疱など）を起こした部位には、ブラッシングなどの物理的刺激を与えないように患者へ説明を行うこと。また、万一、目に入った場合には、すぐに多量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けること。
(3) 本品を火気の近くで使用したり、火気の近くに置かないこと。また高温となる場所、直射日光の当たる場所に置かないこと。
(4) 本品が衣類に付着すると除去が困難なことから、エプロンなどを使用して付着を防止すること。
(5) 本品は揮発成分を含有するため、使用する際は適切な換気（1 時間当たり数回の換気）がなされている場所で使用すること。

- (6) 本品は揮発成分を含有するため、適用時は鼻呼吸するよう患者を指導すること。
 - (7) 本品の誤飲には充分注意すること。
 - (8) 本品は揮発成分を含有することから、使用后すぐに容器を密栓すること。
 - (9) ノズルに液が付着した場合、拭き取ってからキャップを装着すること。また、ノズルが破損する場合があるので、キャップ装着時はまっすぐに装着してから締めること。
 - (10) 光照射の際は保護眼鏡などを使用し、照射光を直視しないこと。[目を痛める恐れがあるため]
 - (11) 他の製品と混用しないこと。[本品の特性が得られないため]
 - (12) 本品は、【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。
 - (13) 本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- 3) 相互作用（他の医薬品・医療機器等との併用に関すること）
- (1) [併用禁忌]（併用しないこと）
ユージノール系製剤は、本品の硬化・接着を阻害する可能性があるため併用しないこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- 1) 直射日光、高温多湿を避けて、冷暗所で保管する。一つの保管庫に大量に保管しない。
- 2) 使用及び保管場所には、消火装置を備える。
- 3) 本品は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理する。

[有効期限]

本品は、包装に記載の使用期限までに使用する。

※（例 EXP. 2018-02 は
使用期限 2018年 2月 を示す。）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 : 株式会社ジーシー

主たる設計元 : 株式会社ジーシー

発売元 : 株式会社ジーシー

住所 : 〒113-0033

東京都文京区本郷3丁目2番14号

電話番号 : (お客様窓口) 0120-416480